

## 4年目を迎えた「国際バカロレアコース」

校長 本郷 宏一

令和4年3月に本校からそして神奈川県立高校から初めての国際バカロレアコース生が卒業しました。ここまで国際バカロレアのコミュニティのサポートを得ながら、教職員も協働して取り組み、成果を出すことができました。これも、国際バカロレア機構による認定と同時に入学してきた生徒たち一人ひとりが、思考力・判断力を高め、積極的に挑戦し続けた結果であり、そのことを誇りに思うと同時に今後のさらなる成長を期待しています。

さて、高等学校で実施できるディプロマ・プログラムの200校計画が、平成25(2013)年6月の「日本再興戦略」において唱えられ、学習の一部に日本語を使用できるディプロマ・プログラムすなわちDLDPが導入されてから10年が経ちました。令和4年5月時点では、学校教育法第1条で規定されているDP及びDLDP実施校は39校です。現在、PYPやMYPを実施している学校も順次DPコースを始めることにより、DPまたはDLDPを実施する日本国内の国際バカロレア認定校は少しずつ増えていくことが見込まれます。

この研究開発実施報告書は、「本校の国際バカロレアコースにおける教育活動を神奈川県教育委員会および他の県立高校へ報告するとともに、今後国際バカロレアの認定を目指す学校に対して有益な情報を発信する」ために作成されました。4年目を迎えた「国際バカロレアコース」について、今年度の取り組み実践を可視化することにより、次年度に向けた課題を明確にして、横浜国際高等学校の国際科国際バカロレアコースの運営を円滑に進ませ、発展させていくための展望を見通していきたいと考えています。

横浜国際高等学校は、国際科と国際科国際バカロレアコースと、学びの方法が異なりますが、目指す生徒像は一致しています。本校の学びを通じてグローバル社会におけるリーダーとして活躍していくための素養を身につけた人材が大いに活躍していくことを期待して巻頭言とします。

### ※国際バカロレアについて

(IB: International Baccalaureate) : 国際バカロレア機構(本部:ジュネーブ)が提供する教育プログラムにより国際的な視野を持った人材を育成し、国際的に通用する大学入学資格を与える仕組み。

IBには次の4つの教育プログラムがあり、DPが高校レベルに相当する。

3～12才対象のPYP(Primary years Programme)、11～16才対象のMYP(Middle years Programme)

16～19才対象のDP(Diploma Programme)、16～19才対象のCP(Career-related Programme)